

## 会 議 録

会議の名称	令和6年度 第3回所沢市立所沢図書館協議会
開催日時	令和7年2月5日（水）午前10時00分～11時30分
開催場所	所沢図書館本館 3階集会室
出席者の氏名	高橋順、猪口茂、齋藤千里、針生清美、河本直子、秋本敏、高橋宏司
欠席者の氏名	喜多濃定人、土屋深優、藤本浩志
説明者の職・氏名	
議 題	(1) 第3次所沢市図書館ビジョンについて（答申） (2) その他
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和6年度第3回所沢市立所沢図書館協議会次第</li> <li>・ 「第3次所沢市図書館ビジョンー実現に向けての事業計画ー」</li> <li>・ 第3次所沢市図書館ビジョン（素案）に対するご意見と市の考え方について</li> <li>・ 令和6年度 利用者懇談会日程</li> <li>・ 本館開館のお知らせ</li> <li>・ 令和6年度 所沢ゆかりの作家・著者一覧</li> </ul>
担 当 部 課 名	<p>教育委員会 教育長 中島秀行  部長 千葉裕之  次長 池田淳</p> <p>所沢図書館 館長 橋本浩志  主査 下村恵利子 主査 小澤朋子  主査 荒井英子 主査 金子大敏  主査 本橋佐和 主査 吉田隆幸  主任 星拓伸</p> <p style="text-align: right;">所沢図書館 電話04-2995-6311</p>

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p><b>1 開 会</b></p> <p>図書館協議会について、事務局から概要の説明。 欠席委員の報告。</p>
事務局	<p><b>2 挨拶</b></p>
教育長	<p>教育長挨拶</p>
	<p>以下、会長が議長となり進行</p>
会 長	<p>協議に先立ち、会議の公開については、規定により原則公開となっている。 この会議について公開としてよろしいか。</p>
委 員	<p>（委員一同了承）</p>
会 長	<p>議事録の記録方法について要点筆記とすること、発言者について「委員」とのみ記載されること、会議録の署名人を齋藤委員、秋本委員とすることとしてよろしいか。</p>
委 員	<p>（委員一同了承）</p>
会 長	<p>傍聴希望者の確認をお願いしたい。</p>
	<p>（傍聴希望者1名）</p>
会 長	<p>傍聴者へ注意事項について説明。</p>
事務局	<p>資料の確認</p>
	<p><b>3 議事</b></p>
会 長	<p>（1）第3次所沢市図書館ビジョンについて（答申）</p>

事務局	<p>事務局から、説明願いたい。</p> <p>第3次所沢図書館ビジョン案の策定経過について報告。</p> <p>令和6年4月から所沢図書館本館職員で構成する策定部会を設置し、内容の検討を行ってきた。7月と10月に図書館協議会にて、委員の皆様へ素案の内容について協議いただいた。その後の政策会議で、素案の協議について発議したのち、全庁照会を経て庁内の意見を素案に反映した。11月22日～12月21日にかけてパブリックコメントを実施したところ、9名から計66件の意見があった。今回の図書館協議会で、最終的なビジョンの内容を協議いただきたい。</p> <p>事前に「パブリックコメントでいただいた意見に対する市の考え方」を郵送している。本来であれば、項目別に整理したかったが、分類が困難な意見が多く、整理できないままの送付となった。また、意見に対する回答期限も短く申し訳なかった。</p> <p>このあと、パブリックコメントの意見とそれを元に修正する箇所について各担当から説明する。</p>
事務局	<p>パブリックコメントを受けて、修正する箇所について説明。</p> <p>●ビジョン案51ページ「ウ 様々な市民に配慮した資料・機器の充実」について</p> <p>「布絵本を記述に加えてほしい」との意見を受け、「布絵本」について追記し、文章の順番を入れ替えるなどの修正を行った。また、「布絵本」の注記も追記した。</p> <p>●ビジョン案55ページ「ア 乳幼児期の読書機会の提供・充実」について</p> <p>記述がわかりづらいとの意見を受け、「1歳6か月児健康診査会場で絵本の読み聞かせを行い、図書館や児童館等の地域の子育て支援施設で絵本と交換できるチケットを配布します。身近な子育て支援施設を知ってもらうことで、子育ての不安解消を図ります。」と修正した。</p> <p>●ビジョン案62ページ 評価事項「本を全く読まない子どもの割合」の学年について</p> <p>教育振興基本計画、子どもの読書活動推進計画と合わせ、指標とする対象学年を小学2年生・5年生・中学2年生とし、説明内容と表を修正した。</p> <p>また、パブリックコメントの意見とは別に、修正する箇所について説明。</p>

	<p>●ビジョン案34ページ 「所沢市公共建築物修繕計画」について  「所沢市公共施設等総合管理計画」に内容が包含されている。「所沢市公共施設等総合管理計画」よりも「所沢市公共施設長寿命化計画」の方がより具体的な内容であることから、「所沢市公共施設長寿命化計画」に差替える。</p>
会 長	事務局からの説明について、意見・質問等はあるか。
委 員	ビジョン62ページの内容について、何か加わったということか。
事務局	評価事項について、対象学年の記載がなかったことから小学2年生・5年生・中学2年生の枠を設け、「所沢市子どもの読書アンケート」のあとに対象学年の内容を追加した。
会 長	他に意見・質問等はあるか。
委 員	(質問・意見は無し)
事務局	「パブリックコメントの結果と市の考え方」について各担当から説明。
	<p>○児童奉仕グループ</p> <p>●56ページ「青少年への図書館サービスの充実」について  日々の読書以外のニーズに応える必要性や、青少年向け書架の配置場所についての情報提供について意見があった。今後の青少年へのサービス充実に向けて参考にする旨を回答した。</p> <p>●22ページ「子ども1人当たりの児童書数」の対象年齢について  一般向けに出版されているものでも所沢図書館が児童書として排架するものを含めて児童書としており、第4次所沢市子どもの読書活動推進計画でも同じ指標を設定していることから、今後の参考とする旨を回答した。</p> <p>●48ページ読書環境の向上 ウ 読書に関わる地域活動に対する支援について  「学童保育へも広げる」よう意見があった。既に団体登録をして本の貸し出しをしている学童保育もあるが、さらなる広報を行い、サービスの周知に努める旨回答した。</p>

<p>会 長</p> <p>委 員</p> <p>会 長</p>	<p>● 58 ページ 「カ 子どもの読書に関わる人材の育成・支援」について  学校での読み聞かせのボランティアの現状について意見があった。所沢図書館では、学校・地域等で子ども達に読み聞かせやおはなしを語りたいと希望する市民へ向けて、講座を開催している。ビジョンのほか「第4次所沢市子どもの読書活動推進計画」にも基づき取組を進める旨を回答した。</p> <p>この説明について、意見・質問等はあるか。</p> <p>(質問・意見は無し)</p> <p>続いて、事務局から説明願いたい。</p>
<p>事務局</p> <p>事務局</p>	<p>○資料グループ</p> <p>● 43 ページ「資料の収集・保存」について  図書館の資料を、もっと拡充して欲しいという意見があった。所沢図書館の資料は、「市民のニーズや社会状況等を反映した、比較的バランスの取れたもの」と評価があった一方で、「一人当たりの貸出冊数が少ないのは図書資料の魅力がないからであり、人気の児童書等を購入するなど、活用されなければ無駄」といった意見もあった。市としては、43 ページに「現在および将来にわたる、市民の多様な学習ニーズに応えられるよう、幅広い分野の資料収集を行います。」と記載していることから、充実した図書館資料の収集に努めるとの回答をした。</p> <p>●「選書」について  「一般市民の意見・要望を聞き取るような機会を設けてほしい」という要望があった。一般市民からの要望等は、「リクエスト」で随時受けるとともに、利用者懇談会の開催や、来館者アンケートを実施している旨を回答した。</p> <p>電子図書館や図書館システムについての意見もあったが、具体的な施策についての要望であったため、今後具体的なサービス展開の中での検討とした。</p> <p>○参考調査グループ</p> <p>● 40 から 41 ページ「レファレンスサービス体制やツールの充実、利用促進」について  パブリックコメントには、「どのようなレファレンスがあったかわからない」</p>

	<p>という意見があった。これについて、図書館ホームページに事例を公表し毎月更新していることと、国立国会図書館レファレンス協同データベースへ提供した過去の事例も閲覧できる旨を回答した。</p> <p>また、「レファレンスの件数を指標として増加を目指すよりAIを活用してはどうか」という意見には、「インターネットで公開されている情報には不確かなものが多く含まれ、信頼できる確かな情報を得ることが重要となり、図書館が長年蓄積してきた蔵書や信頼できる情報を使い、質問に合わせてコミュニケーションを取りながらレファレンスサービスを提供することが欠かせない」と回答した。</p> <p>● 52ページ「郷土資料の充実」について</p> <p>図書資料以外の郷土資料の充実を求める声があった。「精査しながら選定する。」と回答した。</p> <p>● 「郷土資料の電子化」について</p> <p>郷土資料の電子化についての意見があった。ビジョン案44ページに記載のある「オ デジタルアーカイブ化の推進」やビジョン案52ページに記載した「イ 郷土資料の電子化」の通り、取り組んでいくとした。</p>
会 長	この説明について、意見・質問等はあるか。
委 員	「レファレンスにAI等を活用してはどうか」という意見に対しての図書館の考え方は大事だと思う。何でもパソコンで調べた情報が全てだと思いがちである。確かにインターネットは手軽に調べられるが、過去の文献などの資料の価値はネットに上がっている情報の比ではないと思う。(考え方は)大事にしたい。今後取り組んでいっていただきたい。
委 員	学校教育の立場でも、情報の正しさを見極めるということについて、子どもたちに学ばせないといけないと考えている。
委 員	レファレンスについての市民からの質問に関連して、所沢図書館のレファレンスは全国的にも非常にレベルが高いと思っている。国立国会図書館のレファレンス協同データベースにも事例の提供を行っており、私もよく閲覧している。所沢のレファレンスは強みだと思っている。ホームページに掲載してはいるが、なかなか見ない方もいる。図書館の方は知っていると思うが、福井県立図書館が発行した本で、利用者の探している本の勘違いをまとめたものに『100万

	<p>回死んだねこ』というのがある。図書館の本としては7万部以上売れたというかなり面白い本である。所沢図書館にも所蔵があると思うので、後で見たい。所沢図書館は驚くほど丁寧なレファレンスを行っており、全国的に見ても貴重だと思う。その蓄積されたレファレンスを冊子にして世に出すことが、レファレンスをもっと充実させるために必要だと思う。検討してみてもどうか。</p>
会 長	<p>他に意見・質問はあるか。</p>
委 員	<p>(質問・意見は無し)</p>
事務局	<p>○一般奉仕グループ</p> <p>●ビジョン案41ページから42ページ「魅力ある空間づくり」について</p> <p>居心地のよい図書館を実現するための視点として、「一人でも複数人でも年齢も問わずに、各人が静かに学べる落ち着いた空間」、「明るく開放的で程よい広さのある、誰にとっても心地よい空間」、さらには、「全ての市民が、自由に利用可能なバリアフリーな空間」といったような将来像も念頭におき、中核市として、「文化の街・所沢市」として、本館及び各分館の増改築も視野に入れた「魅力ある空間づくり」を目指してほしいとの意見があった。「一人でも複数人でも年齢も問わずに、各人が静かに学べる落ち着いた空間」については、ビジョン案42ページの「ウ あらゆる世代が共有できる空間」に記述がある。「明るく開放的で程よい広さのある、誰にとっても心地よい空間」や「全ての市民が、自由に利用可能なバリアフリーな空間」については、増改築も視野に入れてとのことであったため、参考にする旨の回答をした。</p> <p>また、「WELL認証」や「CASBEEウエルネスオフィス評価認証」などを参考にした方がよいのご意見があった。WELL認証とは、オフィス空間を満足できる状態や幸福度の観点から評価し、基準を満たしたオフィスに与えられる国際的な認証制度のことで、「CASBEEウエルネスオフィス評価認証」とは、省エネや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮や、室内の快適性や景観への配慮なども含めた建築物の品質を総合的に評価するシステムで、建物で働く人が健康で、生産的に働くための環境性能を評価するものである。いずれも、快適で満足できる空間と捉え参考とする旨の回答をした。</p> <p>そのほかの意見としては、「スタンディングデスクや半個室のような空間」、「付近の木材を使った机にしてほしい」、「魅力ある空間を作るには、施設の新設を考えることも大切。図書館を利用しない方たちの意見も集めながら、図書館員以外のメンバーでこんな図書館を作りたいという展望をじっくり練っていくのは、図書館への興味も増すプロジェクトになる。」などの具体的な意見</p>

事務局	<p>もあった。いずれも、このビジョンを基に実施する施策の中で考えていきたいと考えていることから、参考とする旨の回答をした。</p> <p>○総務グループ</p> <p>●図書館施設について</p> <p>いただいた意見の中で、椿峰分館を例に挙げ、建物や敷地内について不便である旨や、また、本館及び各分館の増改築も検討してほしいという要望等があった。</p> <p>ビジョン案４８ページでは、基本目標の「読書を支える」の中で、事業施策「読書環境の向上」についての主な取組として「図書館施設・設備の充実」をあげている。「小さな子どもから高齢者、障害のある方に配慮した施設・サービスの構築、ユニバーサルデザインの導入など、すべての人が利用しやすく快適に読書ができる図書館づくりを進めます。」と目指す内容を記載している。</p> <p>いただいた意見に対しては、「ご意見と市の考え方」の５２のとおり「施設の安全上適切な管理・運営を図るため、必要に応じ修繕を行っているところですが、大規模な修繕につきましては相応の費用と計画を要することから早急な対応が難しい状況があります。」と回答した。</p> <p>市の施設については、各種計画があるため時期的な部分で、理想と乖離が生じる場合もあると考えられるが、誰もが使いやすい施設環境の充実を図ってきたいと考えている。</p>
会 長	事務局からの説明に対して、意見・質問等あるか。
委 員	<p>立地の環境として、木に囲まれていて周辺環境が非常に良いと思っている。大宮の図書館は、氷川参道の入口にあったが、立地の場所が好きでよく行っていた。窓から木が見えるという雰囲気も、私は気に入っている。図書館の建物内は、予算から難しいところもあると思うので、所沢図書館の立地の良さ（外側）のアピールがあってもよいのではないか。</p>
会 長	他に、意見・質問等はあるか。
委 員	<p>今の事務局からの説明は、市民からの意見の中で重要だと思うところを部分的に説明してもらったのだと思う。寄せられた意見の中で、そうだなと強く感じたものや、当たり前のことを言われたただけだなと思うものもあったと思う。平等に並べるのが当たり前とは思いうし、難しいところもあるとは思いますがパブリ</p>

	<p>ックコメントで寄せられた意見を全て読むのは大変である。図書館職員の仕事がいかに大変かということが伝わってくるが、少人数で協議会のような話し合いの場を持つのであれば、この意見が重要だというのがもう少し分かりやすければ集中出来ると思う。ここは盲点だったなとか、そういった（職員の）気持ちが伝わってくると我々（委員）も共感したり意見を言ったりしやすい。次回に向けて一工夫してほしい。</p>
事務局	<p>委員指摘について、大変参考になる。パブリックコメントを約 1 ヶ月実施したなか、9名から66件の意見をいただいた。事務局としても想定より多い応募があり、その都度職員が集まって回答の素案を作るということを繰り返して最終的にまとめたものが今回の一覧である。項目ごとに分けたり、内容を精査するといった余地はあったと思う。今後の参考にしたい。</p>
委員	<p>期待の現れで、寄せられた意見が多いということなのかと思う。</p>
委員	<p>これだけ多くの意見が集まるということは、とてもいい事だと思う。事務局の負担は結構大変だと思うが、今日みたいに件数が多い場合は最初に全体の意見の概要のようなものを説明し、どこがポイントなのかということの説明した方が委員としても分かりやすいと思う。事務局の苦労も分かるが、次回から件数が多いような場合は対応いただきたい。</p>
委員	<p>私も他の委員と同じ思いである。沢山の意見が出された事はとても良い事だと思うが、協議会に参加するにあたり自分が関心のある分野しか詳しく読むことが出来なかった。概要版のようなものの用意があれば良かった。</p> <p>ビジョン案51ページの「読書活動に配慮が必要な市民への支援」の中に「布絵本」が追記されたのは良かった。私は、学生時代に視覚障害の方へ対面朗読の活動を行っていた経験がある。所沢分館に対面朗読室があるにも関わらず、以前モニタリングに行った際にあまり使用者が少ないという話を聞いた。せっかくの施設が利用されないのは、図書館側が一生懸命やっても、なかなかPRがされていないのではないかと感じている。</p> <p>「様々な市民への配慮の充実」の部分に、デジ書のことなどが組み込まれていて良いとは思いますが、なぜ対面朗読の「部屋」が使われないのか、デジ書を増やしていくのが大変なのかを地域の団体や障害者の方に意見を直接聞くような機会があったのか。パブリックコメントを見ても障害者の方や高齢者から「こうしてほしい」というような要望は読み取れなかった。そういう要望を聞くような機会があったら良かったかと思う。</p>

事務局	<p>一般の利用者からの意見は、アンケートで意見を伺っているが、回答者を絞った意見は聴取していない。対面朗読を希望している利用者があることから、そういう方との懇談会などを行い、意見を聴取していけるようにしたい。</p>
委員	<p>所沢市内にも弱視学級や特別支援学級があり、県内で唯一の盲学校が川越市にあつたりすることから、これら関係機関へアプローチしてみるのも良いのではないか。ぜひ活用できるようにしていただきたい。</p>
会長	<p>他に、意見・質問等はあるか。</p>
委員	<p>(質問・意見は無し)</p>
会長	<p>事務局から、補足等あるか。</p>
事務局	<p>回答期限が短かったため、事前の回答が難しかった委員もいると思う。改めて、ご意見等あれば、この場で伺いたい。</p>
会長	<p>今の説明に対して、意見・質問等はあるか。</p>
委員	<p>寄せられた意見の中に、角川武蔵野ミュージアムに関する言及がある。同施設と所沢図書館との連携はあるのか。また、連携がないのであれば図書館側として連携を考えているのか、教えて欲しい。</p>
事務局	<p>角川武蔵野ミュージアムとの連携については、同施設の建設前に市役所内の各課で連携できる事業について意見聴取があつた。その際、所沢図書館としては同施設内に図書館が併設されるとのことであつたため、子どものサービスとして「おはなし会」や催し物などを開催できないか提案している。また、一般向けとして角川の持つ人脈を活用した講演会を共催できないかということ、図書等取次サービスの取次拠点として図書室のカウンターを利用できないかという事などを含めた多くの提案を行ったが、いずれも実現しなかつた。角川武蔵野ミュージアムの開館後に、角川側からの働きかけで公立図書館と連携できる事業について話し合いの場を設け、所沢図書館からいくつか提案したものの、進捗はない状況である。せつかくの施設であることから、所沢図書館としては何か連携したいとは考えている。</p> <p>なお、角川武蔵野ミュージアムの近隣にある YOT-TOKO では柳瀬分館と共催で</p>

<p>会 長</p>	<p>おはなし会を開催したりといった、連携はある。</p> <p>難しいところもあるかと思うが、ぜひ今後ということをお願いしたい。 ここで、各委員から「第3次ビジョン」について感想を頂きたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>私自身、教育者であるため、子どもたちが「ふるさと所沢」を大事に出来る と良いと思っている。地元について何も知らないと、愛着を持ちづらいことから 民俗資料館や生涯学習推進センターなどに散らばっている郷土資料をどこか 一か所に集中し、「ふるさと所沢」を子どもたちが興味を持てるようになれば 良いと思っている。</p> <p>9人から66件の意見の応募とのことであるが、件数に比べて人数が少ない ように思う。先ほどの意見でもあったように、関わりづらい人たちからの意見 を貰っていけるようになると良いと思う。</p>
<p>委 員</p>	<p>同じく、件数に比べて人数が少ないように感じる。意見が来るのを待つので はなく、図書館側から前に出て色々な方から意見を貰うということがあっても 良いのではないか。普段から図書館を利用している団体などに聞くことで、図 書館の運営に即した意見が集まってくると思う。パブリックコメントで集まっ た意見も貴重な意見ではあるが、図書館を利用している方で色々考えている方 から意見を貰うということも必要かと思う。</p> <p>意見の4「魅力ある空間づくり」について意見が出ているが、図書館を「本を 読んだり、見たりするだけではなく“場”としての空間にする」ことも重要に なってきたと思う。何年か前に鎌倉市の図書館が「学校に行けなくなった ら図書館においで」というキャッチコピーを掲示し、話題になったことがあっ た。今後、増改築等あると思うが、市民の集える空間づくりを常に考えていく ことが必要だと思う。ふじみ野市立図書館では、図書館が公民館と合併し広い ホールが作られたことにより、図書館が4フロアに分かれてしまい、市民が集 える空間が無くなってしまった。集える場所が無くなると子どもや高齢者をは じめとした人たちは、どこで集えば良いのか。市民にとって、立ち寄れる空間 づくりが大切なのではないかと思う。</p>
<p>委 員</p>	<p>まず言いたいのは、この「第3次所沢市図書館ビジョン」は素晴らしい立派 なビジョンだということ。図書館が目標を立てて、立派なビジョンを作ってい るということを、もっと多くの人に知ってもらいたい。図書館が頑張っている ということをアピールするためにも、もう少し派手・個性的にしても良かった のではないかという物足りなさを感じる。</p>

<p>委員</p>	<p>パブリックコメントには、私の知らない内容の意見が沢山あった。パブリックコメントで寄せられた意見が、「第3次所沢市図書館ビジョン」にどのような形で反映されているのか直接的には分かりにくいですが、文章に落とし込んでいることがなんとなく分かる。</p> <p>現在行っている全照明 LED 化及び高天井の落下防止工事の影響で、利用者が利用できない期間が長期間にわたっている。これから他の分館も老朽化などで同様の工事を行うこともあるかと思うが、休館期間が長期にわたることが予め分かるのであれば、「こどもと福祉の未来館」や「エミテラス所沢」といった公立図書館ではない商業施設に出張図書館のようなものを設置しても良いのではないか。</p>
<p>委員</p>	<p>図書館職員の英知が込められたビジョンだと思う。所沢市の場合、本館以外が指定管理であることから、指定管理者が「第3次所沢市図書館ビジョン」を受けて、図書館をどう運営していくのかが気になっている。居場所作りは、必ずしも空間づくりだけではない。人との関わりが大事であり、図書館の場合は図書館司書と本を借りに来る利用者との人間関係だと思う。以前にも発言したが、お子さんに積極的な声掛けを行っていた司書がいた。本を借りに来る児童の、借りる本の動向を知っており、次にこれを借りたら面白いといった話から、借りたい本の場所が分からないといったことを聞きやすい司書であった。子どもの名前を覚えたり、親との交流もあったことから親も安心して子どもを図書館に行かせることができるという話を耳にしたことがある。指定管理者に代わったことで、そういう司書の話が乏しくなったように思う。</p> <p>先日、「所沢こどもルネサンス」の「おはなしのひろば」が富岡公民館で実施された。「おはなしのひろば」は、様々な場所で読み聞かせをしている方の集まる、子どもたちへの読書を推進する事業である。私自身読み聞かせボランティアをしていることから、「おはなしのひろば」の1ブースを借りてイベントに参加した。富岡公民館に併設されている富岡分館も読み聞かせをするブースを設けていた。いつものように読み聞かせをするというのは分かるが、イベントの実行委員会との交流が全くなく淡々と業務をしていた印象を受けた。同じ部屋を時間で区切って使うため、どういう使い方をするのか、実施内容が他の団体と重複しないかなどの調整をしたうえでイベントを行いたかったのだが、富岡分館とは打合せでも会う事が出来なかった。イベントも“業務”として行っているのかと思うと、心を感じない気がした。同じ、「子どもたちに向かって読み聞かせをする」ことに目標を置いている人たちとの交流で、子どもたちに伝わるものがあるのではないかと思う。このビジョンには内容が沢山盛</p>

事務局	<p>り込まれているのに、こういったことがあると指定管理者にビジョンの内容がしっかり伝わっているのかと思ってしまう。</p> <p>利用者として本館を利用するとしっかり対応してくれるため、感じることはないが、分館だと何となく“業務”ということを感じてしまう。せっかくのビジョンがあり、本館と分館があるのであれば、指定管理者への指針に対する態度をフォローしてもよいのではないか。</p> <p>指定管理者であっても、図書館という役割を果たしてもらえようお願いしたい。</p>
委員	<p>所沢市のレファレンスが素晴らしいという話を聞かせてもらった。私も数回しか利用したことがないが、職員が丁寧に対応してくれたことで課題解決を体験することが出来た。一回体験してみると次も利用したいと思うようになる。レファレンス事例についてはホームページに掲載もあるが、分館ごとの「こういう課題はこういう風に解決しました」「レファレンスサービスとはこういうこと」のような分かりやすいものがあったら良いと思う。魅力ある空間づくりにもつながることであるから、レファレンスサービスがもっと広まっていくよう努力していただきたい。</p> <p>ビジョン案の22ページに「子どもの一人当たりの児童書数」は平成30年度と令和5年度の比較が掲載されている。これによれば達成率が100%を超えており、子ども一人当たり沢山の本があるように感じられる。実際に図書館を利用する中高生が減っていることが、課題の事項にも掲載がされている。日々子どもたちが利用するのは、学校の図書館であると思うので学校図書館と公共図書館がもっと連携していけるようなシステムが導入されると良いと思っている。</p>
委員	<p>富岡小学校は2年間の特別指定研究を受けており、研究に東京学芸大学の先生を招いたことがある。「図書室は暇だから行くところでなければダメだ、暇だからくつろぎに来て本でも読もうかということでは読み始めるのが読書であり、読めと言われて読むものではない」などの意見を頂戴した。また、低学年向けの絵本のコーナーに敷いている、大きなクッションマットについては、先生に好評であった。</p> <p>休み時間に図書室の利用状況を見ていると、低学年の児童が絵本を読んでいる周りで高学年の児童も絵本を読んでいることが多い。場合によっては、2人3人で「小さいころに読んだよね。」などと言いながら読んでいる。「図書室では静かにしなさい。」であるとか「私語禁止」と言いたくなるが、そういう</p>

	<p>話をしながら読むというのも図書室の一つの姿なのではないかと思いながら図書室の充実に取り組んでいる。去年と比べ図書室の貸出冊数も増えてきている。「第3次所沢市図書館ビジョン（案）」にもあるように、「図書館はいかに人に来てもらうか」を思考しているということが大事である。ぜひ所沢図書館も「ロケーションが良い、行ってみたいな」から、「中に入ってみれば、くつろげて快適」というようなリピーターを増やしていければ良いと思う。立派なビジョンを活かしていただきたい。</p>
会 長	<p>ここまでで、質問・意見等あるか。</p>
委 員	<p>（質問・意見は無し）</p>
会 長	<p>今後、細かい字句の修正等については、事務局が修正するというので、「第3次所沢市図書館ビジョン（案）」を原案のとおり教育委員会へ答申して宜しいか。</p>
委 員	<p>（委員一同了承）</p>
事務局	<p>図書館協議会から、所沢市立所沢図書館へ答申をお願いしたい。</p>
会 長	<p>答申書の読み上げとビジョン（冊子）の受け渡し</p>
	<p><b>（2）その他</b></p>
会 長	<p>「議事（2）その他」に入る。事務局から、何かあるか。</p>
事務局	<p>特に無い。</p>
会 長	<p>その他、委員から何かあるか。</p>
委 員	<p>（質問・意見は無し）</p>
会 長	<p>議事終了により、進行を事務局に戻す。</p>
事務局	<p>事務局から、以下の事項について報告。 ●所沢図書館全照明LED化及び高天井落下防止工事の終了について</p>

	<p>当初は2月28日（金）まで臨時休館の予定であったが、工期の短縮により資料「本館開館のお知らせ」のとおり2月18日（火）から通常の開館を行う。なお、臨時窓口は2月11日（火）まで設置する。2月12日（水）から2月16日（日）までは本館蔵書点検となるため、完全休館となる。</p> <p>●分館利用者懇談会について 資料「令和6年度利用者懇談会日程」のとおり、3月に各分館の利用者懇談会を実施する予定である。なお、本館については令和6年12月1日（日）10：00から所沢市役所602会議室にて実施した。</p> <p>●図書館まつりについて 今年度も本館・分館の各館で図書館まつりを開催し、全体で8,179名の参加があった。本館は本の福袋、除籍本リサイクル、所沢ゆかりの作家のリストの配布を行った。臨時窓口での開催のため、貸出等を行った来館者は336名、航空公園を利用するために通りかかった方でリサイクル本コーナーを利用された方などを含めると、555名となる。</p> <p>報告事項について、質問等あるか。</p> <p>（質問・意見は無し）</p> <p><b>4 次回協議会の日程について</b> 次回、令和7年度第1回図書館協議会の日程は、8月頃を予定している。</p> <p><b>5 教育長挨拶</b></p> <p><b>6 閉会挨拶</b> 副会長から、閉会の挨拶</p> <p><b>7 閉会</b></p>
会 長	
委 員	
事務局	
教育長	
事務局	